

## 経済経営学科の主要科目の特徴

### 学科基礎科目

#### マクロ経済学入門

標準的なマクロ経済学の基礎を、なるべくやさしく、なるべく実例をもとに学びます。その理解の上に、学部レベルのマクロ経済学の問題を解けるようにしていきます。マクロ経済学の意義や目標を説明できるようになり、現実経済における諸問題に関して、経済学的に考えられるようになることを目標にします。

### 基幹ユニット科目

#### 関西経済論

明治から現在に至る関西経済の基礎的知識を取得する。これまでの時代の中での関西経済の変化の経緯を学び、現在、問題になっている関西経済に関して、それぞれが考え、自分なりの意見を持てるようにすることを目標にしています。

#### 消費者行動論

消費者が、何故、特定の商品・サービスを選択購買し、どのように消費するかに関する意思決定プロセスを解明するための方法論を中心に学びます。消費者の商品選択を解明するためにモデルによるアプローチに基づく属性と購買意思決定の関係性を学びます。消費者行動に関する調査を実施し、その結果の分析を通してさらに理解を深めます。キーワードとしては「こだわり」をあげ、消費者の様々なこだわり商品を例示していきます。

### 応用ユニット科目

#### 国際経済学

国際経済を読み解く上での基礎知識について学びます。現代の国際経済事情の具体例として、停滞する日本経済とは対照的に課題がありながらもダイナミックに成長するアジア経済の現状について学び、国際経済学における基本的な概念や専門用語や、主要な政策課題について理解することを目標とします。

#### 企業と社会

社会保障の標準的教科書を用いて、一般市民の所得保障の観点から主に「生活保護」、雇用労働者の観点から「雇用保険」および「労働者災害補償保険」の3つの内容について学びます。

#### 会計学

貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書とは何か、どのようなルールに基づい

て作成されているのか及びその計算構造を学習するとともに、実際の事例に当てはめて財務諸表の分析を行い、財務諸表の構造や作成手法を理解し、財務諸表から得られる情報を使って、企業分析を行うことができることを目標とします。

### **国際金融論**

外国為替や外国為替相場、国際収支の基本的な知識を学び、国際金融を理解する上で重要な論点である、外国為替相場の決定・変動要因を短期・中期・長期に区分し分析していく。そして、国際通貨制度の機能や歴史的展開、ユーロを例として通貨統合のメリットや問題点を中心に講義を進めていく。

### **マーケティング戦略論**

消費財市場に関わる企業のマーケティング戦略の事例を中心に、競争市場において製品・価格・流通チャネル・販売促進・ブランド構築などの観点から競争優位を築いていくためのそれぞれの競争環境で実践されてきた戦略活動が意味する戦略の本質とは何か、今後の企業に求められるマーケティング戦略の必要条件とは何かについて理解を深めていくことを主眼に授業を展開する。